



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東  
コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊  
問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03(3280)2151  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	35,381	16.9	4,757	57.5	5,003	54.5	3,443	1.6
2023年3月期第1四半期	30,276	48.4	3,021	—	3,237	—	3,390	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,796百万円(9.7%) 2023年3月期第1四半期 3,458百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 31.73	円 銭 31.67
2023年3月期第1四半期	31.05	31.01

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 173,515	百万円 105,591	% 60.0
2023年3月期	188,623	107,915	56.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 104,115百万円 2023年3月期 106,451百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 56.00	円 銭 —	円 銭 57.00	円 銭 113.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	28.00	—	29.00	57.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	71,000	17.0	8,900	62.7	9,400	62.8	6,400	6.8	59.29
通期	144,500	12.8	18,000	38.9	19,100	40.4	12,700	52.6	117.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	109,468,400株	2023年3月期	109,468,400株
2024年3月期1Q	1,521,607株	2023年3月期	282,604株
2024年3月期1Q	108,547,545株	2023年3月期1Q	109,185,880株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国の経済は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが引き下げられ、個人消費や設備投資の回復基調を受けて景気は緩やかに持ち直しの動きがみられましたが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しする懸念があるほか、急激な為替相場の変動や物価の高騰などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、コロナ禍のマイナス影響が弱まるなか、主力であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として回復傾向で推移いたしました。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第1四半期の業績は、売上高は35,381百万円(前年同期比16.9%増)となり、営業利益は4,757百万円(同57.5%増)、経常利益は5,003百万円(同54.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期にあった助成金収入1,675百万円が当第1四半期では剥落したことにより、3,443百万円(同1.6%増)となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	30,276	35,381	5,104	16.9%
営業利益	3,021	4,757	1,736	57.5%
経常利益	3,237	5,003	1,765	54.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,390	3,443	53	1.6%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (業務用カラオケ)

当事業におきましては、事業環境の改善を背景に、機器貸貸件数の拡大とコロナ禍の影響により減速していた旧機種から新機種への入替えを推進することにより、安定的収益基盤の強化に努めるとともに、ライブ映像・アニメ映像・ミュージックビデオなどの映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力強化を図りました。

このようななか、4月にはフラッグシップモデルの後継機種である「LIVE DAM AiR(ライブダムアイアール)」を発売いたしました。マイクを通して声による楽曲予約やリモコン操作を可能にした「Aiアシスタント」機能を拡充し、英語・中国語・韓国語の発話にも対応したほか、実在のライブ会場の音響特性を再現する「ライブサウンド」機能に、数千人の大合唱やコール&レスポンスを演出する「エキサイトライブホール」を追加するなど、うたう楽しさをさらに追求した機能が好評をいただき、発売以降、計画を上回る出荷状況となりました。

また、エルダー市場においては、コロナ禍においてかなわなかった介護施設等への訪問営業が一部で可能となるなど事業環境が改善するなか、オンラインイベントを定期的に開催するなどウェブの活用にも注力し、稼働台数の増加に努めました。

以上の結果、新商品の好調な出荷とともに、機器貸貸件数及びDAM稼働台数が堅調に増加したことにより、売上高は前年同期比7.4%の増収となり、営業利益は販管費の増加などの影響により、前年同期比1.4%の減益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	14,336	15,393	1,056	7.4%
営業利益	3,773	3,719	△53	△1.4%

## (カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ2店舗、飲食2店舗の出店及び飲食2店舗の閉店を行ったことにより、当第1四半期末の店舗数はカラオケ510店舗、飲食171店舗となりました。

5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが引き下げられたことなどにより、店舗の集客は期初から回復傾向で推移し、当第1四半期の既存店売上高はコロナ禍以前に比べカラオケ店舗で約10%減、飲食店舗で約10%増の水準まで回復し、前年同期比ではカラオケ店舗で約25%増、飲食店舗で約35%増となりました。

このようななか、9月に35周年を迎えるビッグエコー店舗においては、「優里」や「ももいろクローバーZ」といったアーティストとのコラボレーションを通じて、カラオケから足が遠のいていたお客様の呼び戻しを図るとともに、最上位機種である「LIVE DAM AiR (ライブダムアイアール)」の早期導入やビッグエコーアプリへデモンクアプリ起動機能を搭載するなど、顧客満足度向上に努めました。

また、飲食店舗においてはコールセンター機能の拡充を行い宴会予約の獲得を強化したほか、ダーツ業態である「ダーツワン上野駅前店」「REGALO新宿東口店」を出店するなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は前年同期比32.1%の増収となり、1,219百万円の営業利益となりました。

(百万円)				
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	11,365	15,012	3,647	32.1%
営業利益	△530	1,219	1,750	—

## (音楽ソフト)

当事業におきましては、イベント・コンサート等が再開され始めるなど、音楽業界にも活気が戻りつつあるなかで、CD・DVD等の商品販売及びTV番組制作事業が堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比0.8%の減収となり、営業利益は前年同期比5.0%の増益となりました。

(百万円)				
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	1,582	1,571	△11	△0.8%
営業利益	58	61	2	5.0%

## (その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業が堅調に推移し、当第1四半期末時点で2,100施設、27,000車室を超える規模に拡大いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入の増加などの影響により前年同期比13.8%の増収となり、営業利益は前年同期比1.6%の増益となりました。

(百万円)				
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,990	3,404	413	13.8%
営業利益	407	414	6	1.6%

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15,107百万円減少し、173,515百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が19,964百万円減少し、その他に含まれる前払費用が1,868百万円増加しております。

固定資産ではカラオケ賃貸機器が925百万円及びカラオケルーム及び飲食店舗設備が781百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ12,783百万円減少し、67,924百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では支払手形及び買掛金が841百万円及び未払法人税等が1,351百万円それぞれ減少しております。

固定負債では長期借入金が9,895百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,324百万円減少し、105,591百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,443百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,111百万円及び自己株式の取得による減少3,012百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、本日(2023年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,812	51,847
受取手形及び売掛金	5,367	5,608
棚卸資産	11,735	11,682
その他	4,888	7,218
貸倒引当金	△374	△338
流動資産合計	93,429	76,018
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	6,306	7,232
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	9,192	9,974
土地	40,218	40,218
その他（純額）	6,574	6,796
有形固定資産合計	62,292	64,221
無形固定資産		
のれん	606	588
その他	6,056	5,871
無形固定資産合計	6,663	6,459
投資その他の資産		
投資有価証券	4,914	5,358
敷金及び保証金	14,477	14,470
その他	6,986	7,126
貸倒引当金	△140	△138
投資その他の資産合計	26,237	26,816
固定資産合計	95,193	97,497
資産合計	188,623	173,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,954	4,113
短期借入金	13,511	13,376
未払法人税等	3,106	1,754
賞与引当金	1,151	629
その他	12,564	12,883
流動負債合計	35,288	32,757
固定負債		
長期借入金	31,135	21,239
役員退職慰労引当金	1,113	607
退職給付に係る負債	7,991	8,129
資産除去債務	2,018	1,971
その他	3,160	3,218
固定負債合計	45,419	35,167
負債合計	80,707	67,924
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	89,885	90,217
自己株式	△571	△3,583
株主資本合計	105,876	103,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,047	1,339
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	99	155
退職給付に係る調整累計額	160	159
その他の包括利益累計額合計	574	920
新株予約権	292	303
非支配株主持分	1,172	1,172
純資産合計	107,915	105,591
負債純資産合計	188,623	173,515



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	30,276	35,381
売上原価	19,417	22,355
売上総利益	10,858	13,026
販売費及び一般管理費	7,837	8,269
営業利益	3,021	4,757
営業外収益		
受取利息	3	3
受取保険金	67	10
受取協賛金	50	60
為替差益	-	19
その他	211	222
営業外収益合計	332	316
営業外費用		
支払利息	43	37
為替差損	18	-
解約違約金	1	2
その他	51	30
営業外費用合計	115	70
経常利益	3,237	5,003
特別利益		
固定資産売却益	0	1
助成金収入	1,675	-
特別利益合計	1,675	1
特別損失		
固定資産処分損	6	36
減損損失	4	20
特別損失合計	10	56
税金等調整前四半期純利益	4,902	4,948
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,738
法人税等調整額	366	△240
法人税等合計	1,501	1,497
四半期純利益	3,401	3,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,390	3,443

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,401	3,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	291
為替換算調整勘定	49	55
退職給付に係る調整額	8	△1
その他の包括利益合計	57	345
四半期包括利益	3,458	3,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,448	3,789
非支配株主に係る四半期包括利益	10	6

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年2月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,238,900株の取得を行っております。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,012百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,583百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	14,336	11,365	1,582	27,285	2,990	30,276	—	30,276
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	3,773	△530	58	3,300	407	3,708	△687	3,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△687百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,393	15,012	1,571	31,976	3,404	35,381	—	35,381
セグメント利益 (営業利益)	3,719	1,219	61	5,000	414	5,414	△657	4,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△657百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(四半期連結損益計算書関係)

## 助成金収入

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、従業員の出勤停止期間中の給料等を対象として助成を受ける雇用調整助成金のほか、国及び地方自治体等から給付を受ける助成金等を「助成金収入」に計上しております。